

議会広報

第20号

2011.1.27

# おみたま



今年も1年安らげる「背中(まち)」を目指して

(1/11 新春歩け歩け大会)

12  
月  
定  
例  
議  
会

小美玉から飛ぶ！ “空港開港元年” (H22 経過) P 2-5

15 議案等を4委員会審査 (委員会QA) P 6-8

合併効果の実態を見定めよ (一般質問) P 9-17

市民の声、プレゼントクイズ P 18-19

小川温泉寿荘 今秋リニューアルオープン P 20



# 平成22年、空港開港元年、 現議会最後の、12月定例議会、開催

平成22年の第4回定例議会が11月25日から12月10日までの会期で開かれ、平成23年11月末で任期満了を迎える現議会にとり最終の12月定例議会になりました。

現議会の最終年次となる平成23年を迎えた中、記念すべき茨城空港開港元年となった平成22年を振り返ります。(議会活動：P4-5 参照)

## ▼平成22年 主な経過

- 1/24 初の総合防災訓練を実施
- 2/15 第1回臨時議会、1議案を審議
- 2/16 県道 茨城空港線が開通
- 2/23 国道355号線石岡岩間バイパスが開通
- 2/26 県道上吉影岩間線バイパス、羽鳥宿張星線東ルート一部開通
- 3/2-19 3月定例議会、39議案を審議

予算特別委員会を設置

- 3/6 東関東茨城町JCT～茨城空港北IC開通  
開港記念「空の市」開催
- 3/7 茨城空港開港記念式典
- 3/11 茨城空港開港、開港記念「市民の翼」実施
- 4/4 島田市長無投票再選
- 4/16 スカイマーク神戸便就航
- 5/1 上下水道料金お客様サービスセンター開設
- 5/27 茨城空港～東京駅直行バス運行開始
- 6/3-18 6月定例議会、29議案等を審議
- 6/10 子ども手当支給開始
- 7/20 スカイマーク社札幌、名古屋便就航表明
- 7/22 空港ターミナルビル来場者50万人突破
- 7/28 春秋航空上海便就航
- 8/9 8月臨時議会、3議案を審議
- 8/30 鹿島鉄道跡地バス専用道実証運行開始
- 9/1 市立学校給食センター配食開始
- 9/1-17 9月定例議会、31議案等を審議  
議員定数等検討特別委員会を設置  
2議員が辞職し議員数22名に
- 10/1 平成22年度国勢調査開始
- 10/3-9 中学生日韓交流事業実施
- 10/24 産業まつり空港公園内で開催
- 11/25-12/10 12月定例議会、18議案等を審議

空港ロビーに掲げられた  
書家「川又南岳」氏による「飛」の1文字



地域振興・活性の新たな核として、今後の市政発展を担う（開港日の空港ロビー）



待望された初の国内便として、4月16日、スカイマーク社による神戸便が就航



4ヶ月で来場者数50万人を突破。共用空港として航空自衛隊百里基地の戦闘機が見られるのも大きな集客要因になった

茨城空港の利用状況（平成22年中）？・・・空港への来場者は、759,900人。空港の利用者は、11月（速報値）までの累計で国内旅客が50,663人、国際旅客が79,761人。

12月 定例議会 審議結果 (全 18 件)

討論? . . . 議案等の採決の前段として、各議員が賛否を決するにあたり、その賛同を得るため、各賛成・反対の立場から意見を述べることを。

No	議案等の名称 ~主な内容~	結果	委員会審査
<b>■ 条例の改正 (5 件)</b>			
87	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例 (一部) ~人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じた改定~	◎	- -
88	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例 (一部) ~人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じた改定~	◎	- -
89	職員の給与に関する条例 (一部) ~人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じた改定~	○	- -
90	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例 (一部) ~消防職員の不祥事に伴い、市長の給料月額を平成 23 年 1 月から 3 月末まで 1 割の減額~	◎	総 ◎
91	火災予防条例 (一部) ~関係省令の一部改正に伴うもの~	◎	総 ◎
<b>■ 請願・陳情 (2 件)</b>			
1	TPP の参加に反対する請願 紹介議員：福島ヤヨヒ	◎	市 ◎
4	子宮頸がん予防注射に関する陳情	◎	文 ◎

審議結果の表記・見方

[ 審査委員会 ] 総：総務、文：文教福祉、市：市民経済  
建：建設、各：各所管委員会  
[ 賛 否 ] ◎：全会一致で可決 (採択)  
○：賛成多数で可決

No	議案等の名称 ~主な内容~	結果	委員会審査
<b>■ 平成 22 年度 補正予算 (9 件)</b>			
92	一般会計 補正額) 9 億 7,028 万円、補正後額) 209 億 7,356 万円	○	各 ◎
93	国民健康保険 [ 事業勘定 ] 補正額) △ 505 万円、補正後額) 58 億 3,008 万円 [ 診療施設勘定 ] 補正額) △ 53 万円、補正後額) 1 億 9,403 万円	◎	文 ◎
94	後期高齢者医療保険 補正額) △ 15 万円、補正後額) 3 億 5,089 万円	◎	文 ◎
95	下水道 補正額) △ 57 万円、補正後額) 18 億 5,163 万円	◎	建 ◎
96	農業集落排水 補正額) 3 億 9,712 万円、補正後額) 10 億 2,676 万円	◎	建 ◎
97	戸別浄化槽 補正額) 5 万円、補正後額) 6,925 万円	◎	建 ◎
98	介護保険 [ 事業勘定 ] 補正額) 6,173 万円、補正後額) 27 億 8,381 万円 [ 介護サービス勘定 ] 補正額) 124 万円、補正後額) 375 万円	◎	文 ◎
99	病院 (4 条予算・支出) 補正額) 335 万円、補正後額) 4,743 万円	◎	文 ◎
100	水道 (3 条予算・支出) 補正額) △ 50 万円、補正後額) 7 億 7,471 万円	◎	建 ◎

スポーツシューレ公園 整備費に賛否

議案第 92 号 平成 22 年度 一般会計補正予算案に計上された (仮称) 小美玉市スポーツシューレ公園の工事費等に対し、事業凍結を求め関連予算を削除する修正案が提出されました。採決の結果、修正案は賛成少数により否決され、原案が賛成多数により可決されました。

賛成

大宅 議員

市の活性化に寄与する本事業は、最終的に全市民がその恩恵を享受するもの。これまで国・県からの財政支援を得て事業を進めてきており、事業凍結は市の信用を損ない、今後、他事業への影響も懸念される。構想具体化から 4 年が経過し、毎年度、計上されてきた関連予算には福島議員を除く全議員が賛成し、併せて市民説明会等も開催されており、これら然るべき説明を受けてきた経過は重く受け止めるべき

▼ 審議経過

- 12/10 (本会議)
- ◇ 委員会審査を報告 (原案可決すべき)
- ◇ 事業費の削除を求める修正案が提出
- ◇ 修正案を否決
- ◇ 討論 (福島、大宅、橋本の各議員)
- ◇ 原案を可決

反対

福島 議員

市は税金を活用し市民生活を向上させる義務があり、然るべきインフラ整備は必要である。しかし、その際には市民の理解を得る努力を市民とともにすべきで、今は、工事を進めることより、機運を高める更なる取組みが必要である

橋本 議員

事業化に伴う運営負担の発生や希少生物への影響などについて、議員として一定の責任がある以上、本事業の推進により今後に与えるマイナス影響には責任が持てない

# 平成22年 議会活動報告

## 平成23年、最終年次、に突入

合併後、初の市議会議員選挙を経て誕生した現議会は、平成19年12月の初議会の発足から平成23年11月末の任期満了まで、その在任期間は残すところ1年を切りました。

平成22年の主な動きとしては、3月定例議会での議員全員による当初予算審査を初めて実施し、また、9月定例議会では、次期改選後の議員定数・議会構成等について検討するため特別委員会を設置しました。

### ▼ 開催日数等

項目	会期日数	本会議	委員会	全員協議会	審議議案等	一般質問	傍聴者	その他会議
H22	69日	17日	74日	17日	119件	31人	99名	222日
前年比	8日↓	5日↓	15日↓	1日↓	23件↓	6人↓	29名↓	40日↑

- \* 会期日数は、3・6・9・12月の定例議会、臨時議会における開会から閉会までの日数の合計。
- \* 各会議等の日数は、会議時間に拘わらず会議等のあった日を1日として積算。会期外における行政視察も含む。
- \* その他会議は、議会以外の市内外において議長や議員が団体等から委嘱されるなど出席を求められた会議等に出席した日数を表す。必ずしも全議員を対象としているものではない。

### ▼ 行政視察

委員会名等	日程	視察内容等（場所）	参加
議会全体	1/25-26	八ツ場ダム（群馬県 長野原町）ほか	24人
議会運営委員会	2/3	予算審査（茨城県 坂東市）	10人
正副議長・委員長	2/19-20	時之栖スポーツセンター（静岡県 御殿場市）	11人
議会広報委員会	3/18	偕楽園、映画 桜田門外の変オープンセット（水戸市）	8人
議会全体	4/20-22	神戸空港、神戸市長表敬訪問（兵庫県 神戸市）	22人
総務 常任委員会	6/11	さしまクリーンセンター寺久（茨城県 坂東市）	11人
正副議長・委員長	7/13-15	大津湖岸なぎさ公園（滋賀県 大津市） クリーンセンター広陵（奈良県 広陵町）	12人
総務 常任委員会	7/20-21	消防広域化（兵庫県 加東市） 事業仕分け（兵庫県 加西市）	7人
市民経済 常任委員会	7/21-22	文化ホール（兵庫県 神戸市） 酒米試験地（兵庫県立 農林水産技術総合センター）	7人
文教福祉 常任委員会	8/4-5	学力向上支援（兵庫県 小野市） 保健医療情報システム（兵庫県 加古川市）	7人
議会運営委員会	8/23-24	議会改革（大阪府 柏原市） ナショナルトレーニングセンター（大阪府 堺市）	8人
市民経済 常任委員会	8/25	道の駅 茂木（栃木県 茂木町）ほか	9人
百里基地対策委員会	9/27-29	嘉手納基地（沖縄県 宜野湾市）ほか	11人
議会広報委員会	10/5-6	議会情報の提供（南あわじ市）ほか	8人
新市建設計画推進委員会	10/13-16	春秋航空、茨城県上海事務所（中国 上海市）ほか	10人
建設 常任委員会	10/25-26	本竜野駅周辺整備（兵庫県 たつの市） 道の駅ようか（兵庫県 養父市）	6人

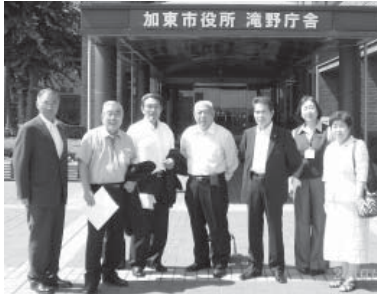
- \* 管外行政視察に対する旅費については、市の旅費規程に基づき県外の場合のみ予算から支出。日当は1日あたり2,400円、宿泊費13,000円、これを超過する場合は自己負担。また、このほかバスや鉄道など交通移動手段に対しては実費相当分を予算から支出。



総務

- ◇日程：7/20 -21
- ◇委員：関口・小川・大宅・村田・中村・福島
- ◇視察地・内容  
 (兵庫県 加東市) 消防広域化  
 (兵庫県 加西市) 事業仕分け

近年の災害・事故等の多様・大規模化など消防行政を取り巻く環境変化に応じながら、住民の生命、財産を守るため、組織・財政基盤を強化する広域化は喫緊の課題。北播磨地域3市1町による協議会を設置し検討する



(兵庫県 加東市)

昨今の社会経済情勢を背景に各自治体は厳しい財政運営を強いられ、積極的な行財政改革が求められている。その1手法として事業仕分けを実施。判定結果は予算編成にも反映している

(兵庫県 加西市)



文教福祉

- 日程：8/4-5
- 委員：山口・岩本・磯辺・木名瀬・藤井・山本
- 視察地・内容  
 (兵庫県 小野市) 学力向上支援事業  
 (兵庫県 加古川市) 保健医療情報システム



脳科学の見地からオリジナルに作成した「おの検定」を通じて、小中学生の学力向上に取り組む。また、中学校区単位に小中学校の連携・交流を図ることで不登校児童の減少にもつながっている

(兵庫県 小野市)

1市2町による広域事業として実施する加古川地域医療情報システム。域内の医療機関や住民がシステムに登録し、個々の健康診断や診療データが蓄積され、日頃からの健康管理につなげる

(兵庫県 加古川市)



市民経済

- 日程：7/21 -22
- 委員：萩原・加藤・野村・戸田・橋本・島田
- 視察地・内容  
 (兵庫県 加東市) 酒米試験地  
 (兵庫県 神戸市) 神戸文化ホール



日本酒の原料となる酒米の試験研究を手がける国内唯一の機関として昭和3年7月に開設。最高峰の酒米として名高い「山田錦」を育てたほか、県の奨励品種や地域の特産品づくりにつながるコメの開発にも成功

(兵庫県 加東市)

市民文化振興財団・神戸国際会館の共同事業体が指定管理者となり管理運営される神戸文化ホール。制度導入によるメリット・デメリット、運営状況等の経過は、3文化センターを有する本市の今後のあり方の参考に

(兵庫県 神戸市)



建設

- 日程：10/25 -26
- 委員：笹目・荒川・大和田・市村・田村
- 視察地・内容  
 (兵庫県 たつの市) 本竜野駅周辺整備  
 (兵庫県 養父市) 道の駅ようか (PFI方式)



駅および駅周辺の一体的な整備を通じて、住民・来訪者全ての人々が利用しやすい交流空間の形成を目指し実施された竜野駅周辺整備事業

(兵庫県 たつの市)

農業者の高齢化など地域の現状や課題を念頭に活性化を目指して整備・運営される「道の駅ようか」。PFI方式により民間ノウハウを最大限に生かすためには、行政側の観察・指導が重要

(兵庫県 養父市)



# 委員会 Q & A

## 各委員会で付託された 15 議案等を審査

本会議で付託された15件の議案等について、11月30日から12月2日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

(委員)

口川 宅田 村島  
関 小大村 中福

### 職員不祥事で市長給与カット

Q 常勤の特別職の給与等に関する条例改正の内容は?

A 今回の職員不祥事に伴い、市長の責任を明確にするため、給料月額の特例を定めるものです。平成23年1月から3月までの3ヶ月間、給料月額の10%を減額します。

Q 市役所全体の職員に市民の模範となるよう綱紀粛正を図るよう促してほしい。

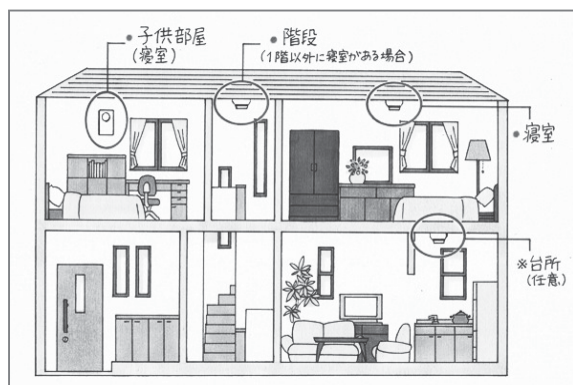
### 昨年引き続き職員給与等を削減

Q 人件費の減額補正の理由は?

A 人事院勧告に伴う国家公務員給与の改定に準じて、職員等の給与と条例を改正するものです。

Q 改正の内容は?

A 給料については、特に40歳台以上に限定して、平均0.1%の引き下げを行い、また、55歳を超える職員に対しては給料の1.5%を引き下げるものです。



住宅火災の死者数は建物火災全体の約9割、このうち約6割以上を高齢者が占め、その主因は逃げ遅れとされる。高齢化進展への対策強化のため設置が義務化(火災警報器の設置箇所)

### 火災報知機の設置状況は

Q 火災予防条例の改正内容は?

A 複合型居住施設に専用の自動火災報知設備を設置した場合、住

期末手当については、市長や職員などの特別職が0・15カ月、一般職員については、期末勤勉手当が0・2カ月それぞれ支給月数を引き下げるものです。

Q この改正による削減額は?

A 対象者は特別職・一般職を合わせて548人です。また、この改正に伴う削減額は4,576万円となります。

住宅用火災警報機器等の設置が免除されるといふものです。

Q 複合型居住施設とは?

A 共同住宅の1室を利用し、小規模なグループホーム等の福祉施設を設けたものですが、現在のところは、市内に該当する施設はありません。

Q 個人住宅については?

A 既に火災予防条例により、全ての寝室と、2階以上にも寝室がある場合には、階段の天井にも設置が義務付けられています。

新築住宅の場合は平成18年6月から、既存住宅は平成20年6月から適用となっています。

Q 新築住宅については、建築確認等で設置が確認できるが、既存住宅についての設置状況は把握できているのか?

A 今年11月に開催した防災フェアで実施したアンケートでは、約160名の方のうち59%が設置していると回答しています。

Q これから冬に向かい火災も増えてくる時期なので、火災報知機の設置を推進するよう広報・啓発活動をお願いしたい。



文教福祉

(委員) 口本 瀬井本  
山岩 名木 藤山

生活保護世帯は増加の一途

Q 生活保護世帯の増加に伴い、扶助費として8,747万円が増額補正されているが、これまでの保護申請の状況は？

A 平成22年4月時点での保護世帯数は263世帯でしたが、11月には290世帯となり、本年度だけでも27世帯が増えています。

さらに、現在も申請が数多く上がっている状況で、予想以上に増加している状況です。

Q 昨今の社会経済情勢から、止むを得ない理由により申請する方が多数いると思われる。申請相談時には、親切丁寧な対応をしてください。

子どもプラン利用者が増加

Q 放課後子どもプランの指導員賃金が増額されている理由は？

A 平成22年4月現在、登録している児童数は380名で、昨年度より70名増加しており、また、夏休みな

ため池?・・・降水量が少ない、また、流域河川に恵まれない地域などにおいて、農業用水を確保するために水を貯め取水できるように人工的に造成された池。

どの長期休業期間のみ利用する児童も多くいました。このため当初の見込みより指導員を多く配置したためです。



平成20年4月から市内10小学校、翌年4月には全校で実施される放課後子どもプラン。子どもの居場所づくりを通じて、地域の連携強化も期待される

スポーツシユレ公園整備工費が計上

Q 今回の補正予算に計上された(仮称)スポーツシユレ公園整備事業費の内容は？

A 公園本体および周辺道路の工事費と用地買収費が主なものです。

Q 買収予定用地の内容は？

A 地権者は22名、筆数が27筆になります。面積としては約4万㎡です。

Q この事業への財源に国からの補助金が充てられているが？

A この事業の財源として、まちづくり交付金を活用するため、平成21

年度に都市再生整備基本計画を策定しています。この計画策定により、平成25年度までまちづくり交付金の活用ができます。

Q まちづくり交付金を活用できる事業は？

A この交付金は、公園整備費はもとより公園を利用してもらうためのイベントなどソフト事業にも活用できることから、平成24年度までに工事を完了させ、平成25年度には集客を図る事業を計画していきたいと考えています。

Q 運営には、当初から指定管理者制度を導入するのか？

A 指定管理者制度の採用を通じて、民間企業のノウハウを取り入れたほうが、公園の運営がスムーズと考えています。

Q 利用促進策については？

A 具体的な中身についてはこれからですが、これまでホームページを通じて、この整備計画を知った方から問い合わせが寄せられており、県外からも是非利用したいとの声もある状況です。今後、市内外から幅広く集客を図れる施設としていけるよう体制づくりも進めていきます。

市民経済

(委員) 原藤 村田本  
萩加 野戸橋

農業資源「ため池」の改修工事

Q 土地改良事業の計画とは？

A 柴高地内にあるため池「ぬかり池」の整備事業を行うものです。事業計画を茨城県知事と協議し、この同意を得る必要があるため、議会の議決を求めています。

Q この事業の目的は？

A 現在、池全体が侵食され、安定性が損なわれている状態にあるほか、取水管の老朽化、土砂等の堆積により貯水機能が低下しています。このため本事業を通じて改修を実施し、貯水機能の確立と維持管理コストの節減により、農業経営の安定化を図ることを目的としています。



実施設計委託費と整備工事費を合わせて2,877万円の補正予算を計上。審査に先立ち委員会で現地を視察(ぬかり池・柴高地内)

米軍再編交付金？・・・07年5月に成立した米軍再編特措法（10カ年の時限立法）に基づき、米軍再編に伴う基地移設や訓練移転等に協力した市町村に配分。平成22年度、本市へは2億7,404万円が交付。

**（仮称）空の駅構想の進捗状況**

**Q** （仮称）空の駅構想を策定する委員会が開催されたが、ここでの協議内容は？

**A** 委員会は議会・商工会・農協・観光協会・行政等の関係者から構成されています。この中で整備構想の進め方、計画条件等について協議していきます。

**Q** 候補地についての考えは？

**A** 現在、茨城県とも協議を進めているところですが、（仮称）空の駅に相応しい立地条件について、優位性、将来性などの面から詳細に検討をしているところです。

**Q** 早急に場所を決定していくべきでは？

**A** （仮称）空の駅については、市民の方々からも大いに期待しているとの声を聞いています。この期待を裏切らないよう慎重に検討していきます。

**Q** 今後の具体的なスケジュールについては？

**A** 基本コンセプトは決まりましたので、次に、導入機能、施設の規模および配置、管理運営計画、今後の課題整理等について協議し、年度内での策定を予定しています。

**建設**

**設**

（委員） 目谷川 和田 村 村  
笹古荒 和 大市 田 田

**ゲリラ豪雨に伴う災害復旧は**

**Q** 道路維持費2,430万円を増額補正する理由は？

**A** 主な理由は、7月末のゲリラ豪雨により、市内100カ所以上に及ぶ道水路の路肩崩壊や土砂の流出等が発生し、これらの緊急補修により、当初予定分に不足が生じたためです。

**Q** 現在までの復旧状況は？

**A** 路肩崩れ等の補修が64カ所、路面補修等は22カ所を実施しています。この他にも職員が直接行っているものもあります。

**Q** 大雨等の際に、いつも土砂が流れるような場所がある。こうしたものについては、防災や周囲への影響を勘案し、市の拡張基準に満たない幅員の道路でも整備対応を検討していくべきでは？

**A** 基本的に市で舗装する道路の要件は4.8mですが、今回の集中豪雨でも砂利が流される被害が相次いでおり、これまでの状況等を整理して、統一的な形で対応できるように検討していきます。

**基地周辺地域整備協議会へ1440万円を増額補正**

**Q** 基地周辺地域整備協議会への補助金について、1,440万円を増額補正する理由は？

**A** この増額分のうち1千万円については、空港開港に伴う騒音増大に対して、県に恒久的な助成を要望していたものを、本年度に限り特別交付税が措置されたことに伴い、本市の一般財源から相当分を充当するものです。

また、残りの440万円については、米軍再編交付金事業が本格化する中で、同協議会に幡谷、田中台、山野、伏沼の4地区が新たに加入することになり、テレビ・電話の難視



老朽化した本館等の建築工事が間もなく始められる「小川温泉寿荘」。その財源として再編交付金が活用される

聴の状況に地域運営費を加算し、算出しています。

**Q** 財政が厳しい中での増額であることを踏まえ、適切な対応をお願いしたい。また、再編交付金については、全市的な活用も十分検討いただきたい。

**A** 地域の内と外では、意見の相違もあるわけですが、最大限、地域への還元・活性化を念頭に活用できるように調整していきます。

**12月定例議会日程**

日程	会議等の内容	傍聴
11月25日	本会議 行政報告、議案上程 質疑、討論、採決	1名
29日	本会議 一般質問、質疑 委員会付託	4名
30日	総務常任委員会	—
12月1日	建設常任委員会	—
2日	文教福祉常任委員会 市民経済常任委員会	—
9日	議会広報委員会	—
10日	議会運営委員会 本会議 報告、修正動議、採決 討論、採決	1名



# 市民の声を市政に 一般質問

## 住みやすいまち目指して

平成22年第4回定例議会で行われた一般質問には、8名の議員が市政に関する24項目について質問や提言を行いました。紙面の都合によりダイジェスト版(一部掲載)としてお知らせします。質問全文は議会ホームページまたは市内の各図書館に設置する会議録でご覧いただけます。今定例議会の会議録は3月頃に発行の予定です。



市内全12校を代表し24名の子ども議員(6年生・各校2名)が市政に迫る (12/27 第4回子ども議会)

### 1. 山本 信子 (10 ページ)

- ① 少子化対策  
(答弁：総務部長、保健福祉部長)
- ② 女性のガン対策  
(答弁：保健福祉部長)
- ③ 消費者相談センター  
(答弁：市民生活部長)
- ④ 窓口サービス  
(答弁：総務部長、市長)

### 2. 山口 良元 (11 ページ)

- ① 職員不祥事による綱紀肅正  
(答弁：総務部長、市長)

### 3. 藤井 敏生 (12 ページ)

- ① 平成23年度予算編成  
(答弁：市長)
- ② 指定管理者制度  
(答弁：市長公室長)

### 4. 福島ヤヨヒ (13 ページ)

- ① 幼児教育のあり方  
(答弁：教育長、保健福祉部長)
- ② 緊急を要する施設改修等の対応  
(答弁：市長公室長)
- ③ 子どもの医療費無料化  
(答弁：保健福祉部長)
- ④ 法定外予防接種の助成拡充  
(答弁：保健福祉部長)
- ⑤ 公共交通のあり方  
(答弁：市長公室長)

### 5. 小川 賢治 (14 ページ)

- ① かしてつ跡地バス専用道化  
(答弁：市長公室長)
- ② 産業まつり  
(答弁：産業経済部長)
- ③ 県道 上吉影岩間線バイパス整備  
(答弁：都市建設部長)

### 6. 関口 輝門 (15 ページ)

- ① 県議選  
(答弁：総務部長、市長、副市長)

### 7. 荒川 一秀 (16 ページ)

- ① 専門職の採用  
(答弁：総務部長)
- ② 税収と税の公平配分  
(答弁：市長公室長、都市建設部長)

### 8. 戸田 見成 (17 ページ)

- ① 幹線道路の進捗状況  
(答弁：都市建設部長)
- ② 職員の懲戒免職処分  
(答弁：副市長)
- ③ 補助金適正化の現状  
(答弁：市長公室長)
- ④ スポーツシュレの経営方針  
(答弁：教育次長)
- ⑤ 茨城空港とテクノパーク  
(答弁：産業経済部長)
- ⑥ 下水道事業  
(答弁：都市建設部長)

一般質問?・・・市民の代表である議員が、市政全般について質問や提言を行うこと。質問は通告書の提出順で行われます。質問時間は60分以内・再質問までとなっています。

子宮頸がん予防ワクチン?・・・発がん性のHPVウイルスの中で子宮頸がんの原因として最も多いとされる16型、18型の感染を防ぐワクチンで予防効果は50〜70%とされる。日本では平成21年12月から接種可能になった。



山本 信子

## Q. 女性を大切にする小美玉市へ 諸施策の検討成果を聞きたい

### A. ワクチン接種公費助成へ 併せて検診促進につなげる

#### Q 子宮頸がんワクチン助成 実施可否か検討成果は

**A 保健福祉部長** 県内市町村における子宮頸がんワクチン接種への公費助成の状況は、来年度からの実施予定も含めて、33市町村（実施率75%）となっています。

本市でも国の交付金制度の創設を受けて、平成23年度から13〜16歳までの約1,050名の女性を対象に実施していくため、現在、準備作業を進めているところで、受益者負担の観点から、原則1割の自己負担を予定しています。

今後の実施に向けては、中学校の協力や、個別文書・広報紙等を通じて周知啓発に努めながら、併せて、接種後における継続した検診の必要性も含め、がん検診の受診促進にもつなげていきます。

#### Q 待機児童の現状と対策は

**A 保健福祉部長** 本市の待機児童は、10月1日現在、23名が該当していますが、民間保育園の開園に伴い、平成19年度時点の49名から

減少傾向にあります。

来年度は、これまでの定員超過の状況等を受けて、四季の杜保育園と玉里第2保育園で各10名の認可拡大が図られますので、今後も引き続き、出生率や要保育率等を踏まえ、各民間保育園にご協力をいただきながら、認可定員の見直しを行っていきます。

#### Q 9月から窓口延長実施も 周知不十分・土日実施を

**A 総務部長** 窓口業務の延長については、本年9月から市民サービスの向上を目的として、毎週水曜日（午後7時まで・祝日除く）、本庁の市民・医療保険・税務・会計の4課と、小川・玉里総合支所の総合窓口課で実施しており、これまでの受付件数は9月86件、10月89件となっています。

今後、引き続き、広報紙等を通じて市民への周知を図りながら、利用状況の推移を見定めた上で、休日の実施について検討していきます。

#### Q 開設から1年を経過し 消費生活センター活用は

**A 市民生活部長** 昨年11月の開設から今年10月末までに136件の相談が寄せられており、主な相談内容は、婚姻や相続、多重債務問題等が46件と全体の約3割を占め、年代別では50〜60歳代がトップで13%、また、70歳以上の方からは訪問販売等による契約解除の相談が多く寄せられています。

引き続き、市民の皆さんが気軽に相談できるよう周知に努めるとともに、今後もさらに相談需要の増加や内容の複雑・多様化等が予想されることから、相談員の知識向上を図りながら、関係機関等との連携を強化し、なお一層の消費者行政の推進に努めていきます。



文化祭の消費生活展では消費生活センターの周知活動として、3会場で相談コーナーの設置とパネルシアターによる啓発を行った



飲酒運転による交通事故?・・・平成21年中の発生件数は5725件(構成率0.8%)、飲酒なし交通事故件数は約69万件)で、罰則が強化された平成14年以降減少し、10年前の4分の1。

## Q. 職員の飲酒事故を受けて 綱紀肅正への理解・徹底を



山口 良元

## A. 法令順守の徹底を図り 市民の信頼回復に努める

### Q再発防止への取組みは

平成22年10月末までに、県内で発生した飲酒運転が原因とされる事故は、前年より12件多い182件、全国ワースト2位となっており、法改正による厳罰化や根絶を求める声の高まりにもかかわらず、依然として「飲んだら乗らない」意識の徹底は不十分ともいえる。

今回、市消防本部の幹部職員が日中に飲酒し酒気帯び運転で追突事故を起こしたことは、公職にある者の任務・立場等を考えれば、よもや出来うる行為ではないはずだが、今後、改めてどのように綱紀肅正を徹底し、再発防止に向けて取り組んでいくのか。

**A 総務部長** 昨今、全国的に公務員による飲酒運転、暴力行為、事務処理の怠慢などの不祥事が報道されているところですが、本市においても、職員には全体の奉仕者としての立場を認識し、法令順守の意識を高め、職務に専念すること、また、自らの行動が全体の信用に大きな影響を与えることを自覚すること、職場以外でも公務員としての自覚を持ち、疑惑を招く

ことは慎むよう指導してきたところでです。

今回の職員による飲酒運転事故は非常に残念であり、市民からの信用を失墜させ、ひいては市政運営にも大きな支障をもたらすこととなります。

今後、1日も早く市民の皆さんからの信頼を回復するために、職員一人ひとりが改めて法令順守を自覚し、職員一丸となって綱紀肅正に取り組む、2度とこのような不祥事を起こさないよう、更に指導や注意喚起を促すことにより、公務員としての自覚、なお一層の

法令順守の徹底を図り、各種の再発防止策に取り組んでいきます。

**A 市長** 交通安全、特に、飲酒運転については、日頃から厳しく注意してきたにもかかわらず、今回、市民の生命・財産を守るべき消防職、さらに管理監督する側の職員が、酒気帯び運転により事故を起こしたことは、誠に遺憾であり、議会をはじめ市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

今後、2度とこのようなことを起こさぬよう、綱紀肅正を徹底し、再発防止に取り組んでいきます。

# 飲酒運転の根絶!

飲酒運転は絶対にしない、させない

飲酒運転には厳しい処分が!

<p><b>酒酔い運転</b></p> <p>無条件で…… <b>35点 欠格期間3年 免許取消し</b></p>	<p><b>酒気帯び運転</b></p> <p>呼吸中アルコール濃度 0.15mg/ℓ以上 0.25mg/ℓ未満</p> <p><b>25点 欠格期間2年 免許取消し</b></p>	<p>呼吸中アルコール濃度 0.15mg/ℓ以上 0.25mg/ℓ未満</p> <p><b>13点 免許停止 90日</b></p>
---	---	--

**欠格期間の上限は10年!**

<p>酒酔い運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金</p>	<p>酒気帯び運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金</p>	<p>酒酔い運転をした場合 3年</p>
<p>酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金</p>	<p>酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金</p>	<p>死亡事故を起こした場合 7年</p>
		<p>ひき逃げをした場合 10年</p>

運転者にも運転者以外にも厳しい罰が!

<p><b>運転者</b></p> <p>酒酔い運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金</p> <p>酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金</p>	<p><b>車両の提供者</b></p> <p>酒酔い運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金</p> <p>酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金</p>	<p><b>酒類の提供者・車両の同乗者</b></p> <p>酒酔い運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金</p> <p>酒気帯び運転 2年以下の懲役又は30万円以下の罰金</p>
---	--	--

※) 車酔い及びその他の累積点数がない場合  
※) 欠格期間とは、運転免許を取り消された場合に、運転免許を受けられない期間

指定管理者制度?・・・公の施設の管理運営については、これまで市の出資団体や公共的な団体に限られていたが、この制度創設により、民間事業者等までを含めて管理を代行させることが可能となった。



藤井 敏生

## Q. 類似施設の統合再編進まず 今後の施設管理のあり方は

### A. 第2次改革の目玉として 各施設の実情・効果を検証



行政コスト縮減を図りながら、事業者等の持つ経営ノウハウによりサービス向上を目的とする指定管理者制度。医療センターは平成20年4月から医療法人 幕内会が運営にあたる

#### Q 指定管理者制度の積極活用は

合併に伴い類似施設が点在する状況にもあるが、これまで施設の再編・適正配置は進んでいない。

今年度、第1次行財政改革の取り組みが終了し、新たに平成23年度からの第2次改革へと移行する中で、指定管理者制度の導入等も含め、今後の施設管理のあり方についてどのように考えているのか。

#### A 市長公室長

地方自治法を改正し、公の施設の指定管理者制度が創設されたことにより、平成18年5月に市の制度導入指針を策定し、これに基づき、各施設の設置目的や運営形態等を踏まえ、導入の是非について検討してきました。この結果、これまで、平成18年度に

シビックガーデン（市民農園）、平成19年度に国保中央病院が同制度に移行しています。

今後、さらに行財政改革を継続・推進していくため、平成23年度からの第2次行財政改革の中で、民間等の活用により、運営経費の削減やサービス向上の期待できる施設について導入を推進していくこととしており、現在、協議中の四季健康館をはじめ、寿荘や（仮称）スポーツシユール公園について具体的に検討を進めていく予定です。

また、併せて、施設の適正配置・再編を推進していくため、町村合併により重複する類似施設については、市民ニーズの変化や費用対効果、施設の実情等を踏まえ、有効活用策から統廃合までを含めて検討していきます。

#### Q 地方の自由裁量が拡大? 厳しい環境下での予算編成は

#### A 市長

国では、強い経済・財政・社会保障の一体的な実現を目指す「新成長戦略」を閣議決定し、平成23年度の概算要求において、予算配分の大胆な組替えにより、財政

規律を維持し、国民目線、国益にかなう予算構造に改めていくとしています。

こうした中、本市の予算編成においては、依然として厳しい行財政環境の中で、将来にわたり持続可能な健全財政を確保するため、今後の地方財政対策をはじめ、県の動向等を踏まえるとともに、本市の行財政改革大綱に基づく改革を推進し、また、市債残高に留意し、決算を見据えた予算編成に努めていきます。

現在、具体的に進められる予算編成の中では、各事業の優先度や費用対効果を見極め、限りある財源を重点・効率的に配分するため、昨年度に引き続き、「枠配分方式予算編成」を採用し、個々の施策と市民ニーズを熟知した各事業担当者が前年度予算にとらわれず、重点予算枠を設定するなど、ゼロベースからの事業の検証・見直しにより、内部調整が十分に図られ、メリハリのある予算となるよう取り組んでいるところですので、限られた財源の公正かつ効果的な配分により、更なる市民サービスの向上を目指していきます。



予防接種?・・・予防接種法等で定められ、対象年齢内に接種すると「任意接種」に分かれる。I類疾病の定期接種はポリオ、BCG、麻疹、風疹、日本脳炎

## Q. 保護者の多様なニーズにかなう 本市の幼児教育のあり方は

### A. 旧町村1カ所を基本線 幼保連携は国県動向みて



福島ヤヨヒ

#### Q 今後の幼児教育いち早く示せ

社会経済情勢を背景に、幼児教育に対する保護者ニーズは多様なサービスを求めており、国でも幼保の連携が模索されているが、本市独自のあり方として、今後の方向性をいち早く示すべきである。

また、美野里地区の幼稚園・保育園については、施設の老朽化や耐震性の不安解消を図るべく、早急に整備対応いただきたい。

#### A 教育長

本市の公立幼稚園は、現在、玉里・小川地区が1幼稚園、美野里地区は小学校ごとの4幼稚園を設けています。このうち小川地区については、合併後、小学校区ごとの幼稚園を統合してきた経過がありますが、これは少子化により園児数が減少する見通しや、民間との役割分担などを考慮し、将来的には原則、旧町村ごとに1カ所ずつの設置を基本とする考えに基づいたものです。

また、昨今の社会状況の変化に伴い、専業主婦家庭は幼稚園、共働き家庭は保育園といった線引きを改める時期にきており、国でもこの統合を目指しています。現にはまだ相当な時間を要するも

のと考えています。

しかしながら、本市独自でこれらを進めていくには、現時点では、ハード・ソフト両面で国・県に依存している状況下であり、各自治体の自主財源のみで運営できる体制にはないことから、今後の動向を見極めながら対処していく必要があります。

こうしたことから、まず美野里地区の幼稚園については、耐震診断の結果から早期の安全確保策が求められていますので、審議会や民間事業者等との協議等を通じて、早急に整備計画をまとめていきます。



美野里地区の市立4幼稚園はいずれも築30-40年が経過。耐震診断から強度不足も指摘されている  
(羽鳥幼稚園)

#### Q 急な改修改善への対応は

A 市長公室長 急を要する施設等の改修改善については、現在、施

設を管理する各部署において、現予算の中で対応するか、直近の議会で補正予算を議決後に対応するか、また、予備費等で対応しているのが現状ですので、日頃から各部署が連携を図り役割を明確にしながら、事前に被害等を最小限に留めるなどの工夫が必要です。

今後、全庁的な危機管理を強化するため、再度、各事業を点検した上で、想定される事案等に対する危機管理への体制づくりを検討していきます。

#### Q 法定外予防接種への助成を

A 保健福祉部長 肺炎球菌およびヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチンについては、0歳から4歳児を対象に、また、子宮頸がんワクチンについては、13歳から16歳相当の女子に対して、接種の公費助成を検討しているところです。

この3ワクチンについては、国で交付金が創設されたことから、接種費用の9割を公費で、残りの1割を受益者負担の観点から、自己負担でお願いしたいと考えています。

かしてつ跡地バス専用道化事業?・・・廃線となった鹿島鉄道跡地をバス専用道として整備し、平成22年8月30日から運行開始。石岡駅から旧常陸小川駅までの計画区間のうち、現在、旧四箇村駅までの約5km区間が供用開始。



小川 賢治

## Q. 空港シンクロナ事業を進展し 活力あるまちづくり目指せ

### A. BRT利用者 目標の6割 沿線地域との親和で利用促進へ

**QかしてつBRT利用促進を**  
かしてつ跡地バス専用道化事業がスタートし、公共交通を軸とした新たな活力あるまちづくりが期待されるが、これまでの事業経過、利用者の状況は。また、沿線地域の潜在需要を踏まえ、今後、どのようにイメージアップを図りながら利用促進につなげていくのか。

**A 市長公室長** 運行開始以降の1日平均の乗降客数は約950名で、代替バス運行当時の850名は上回るものの、目標とする1600名の約6割と伸び悩んでおり、特に土日の利用が少ない状況です。

これまで利用促進に向けては、トータルデザインにより啓発事業を進めながら、バス本体やバス停、駐輪場等の整備について統一感のある空間づくりによりイメージアップを図っています。また、利用者の利便性を確保するため、携帯電話等から運行状況を取得できるシステムを採用しています。

今後、これまでの経過等を踏まえ、行政や交通事業者、地域住民等で組織される戦略会議の中で協議を重ねるとともに、沿線地域の方々に親しまれることが、利用促進にも直結することから、地元コミュニティ等にご協力をいただき、効果的な手法により沿線美化活動等に取り組んでいきます。



昨今、高齢化により交通弱者の問題が顕在化。環境問題への対応や地域の活性と併せ、各地域なりの公共交通のあり方が模索されている

### Q 上吉影岩間線バイパス全線開通は

**A 都市建設部長** 県道上吉影岩間線バイパスについては、茨城空港へのアクセス道路として、平成13年度より岩間インターから国道6号線までの総延長6.7km区間の整備事業に着手し、平成21年度までに空港開港に合わせて、約4km区間が供用開始となっています。

残りの未整備区間2.6kmについては、県知事をはじめ県議会土木委員会に対しても、本市内における県道整備事業の最要望案件として示しており、引き続き、早期事業化に向けて強く要望していきます。

### Q 産業まつり更なる賑わいを

**A 産業経済部長** 本年度の産業祭については、実行委員会からの提案を受け、昨年まで商工会が実施してきた商工祭と市の産業祭を一本化し、小美玉市誕生5周年と茨城空港開港を記念して、空港ターミナルビルに隣接する空港公園を会場に、新たに「おみたま産業まつり」として開催しました。

今回、空港公園を会場としたことにより、市民のみならず空港見学者など県内外の方にも幅広く本市の産業をPR出来たものと考えており、この他の各種イベント等と併せた新たな賑わい創出により、地域活性化につなげていきます。



空港開港に伴い交流人口の更なる拡大が期待される。市内外に本市産業を広くPRする場として浸透を図っていききたい  
(産業まつり・空港公園内)



選挙活動?・・・特定の選挙で特定の候補者を当選させるために行う行為全般で、その期間は立候補の届出のあった日から投票日の前日まで。広い意味で政治活動の一部と解されるが、公職選挙法では明確に区別される。

## Q. 禍根残す県議選 市政停滞招く 市長の特定者支援は慎重に対応を



関口 輝門

## A. 指摘を真摯に受け止め配慮 公平公正な立場で職務遂行

### Q 特定候補者の支援に疑念

公務員の選挙運動については、その地位を利用した活動が禁止されており、市政運営のトップにある市長・副市長が特定候補者を支援する活動・行為は厳に慎むべきものである。まして公用車を利用しての運動は言語道断、常に慎重かつ公平公正な行動が求められる。

今回の県議選は、長年空白区であった地元から念願の県議会議員を選出する重要な選挙であり、県とのパイプ役として今後の市政発展をも占うものであるが、特定候補者の支援により、今後に禍根を残さぬよう、その立場を十分に認識し対応いただきたい。

**A 総務部長** 市長・副市長は、常勤の特別職地方公務員として、その職務を執行していますが、一般職の地方公務員が法に基づき一定の政治的行為が制限される一方、特別職への適用はありません。

しかし、一般・特別職の区分なく、また、常勤・非常勤にかかわらず、その地位を利用しての選挙運動については禁止されています。

この「地位を利用して」の一般

的な解釈については、特に職務上の地位と選挙運動の行為が直接結びつく場合をいいますが、地位利用かどうかの判断については、最終的には個々の具体的な事例により司法が判断することになります。

**A 市長** 合併以降、対話と強調を基本理念に、市民参加の開かれた市政を通じて、輝ける水と緑の交流都市の実現を目指しており、今後も引き続き、公平公正な立場で職務を遂行していきます。

過日の新聞報道でも首長の公用車の取扱いに関して、司法判断が掲載されましたが、この使用については、土・日曜の公務の際にも自車で行動するなど留意してきたところですので、ご指摘の選挙運動については、間違いの無いようご判断をいただきたいと考えており、今後も、ご指摘・ご不満を与えないような対応を心がけていきます。

### Q 選挙公報の迅速な配布を

選挙の際、有権者の判断材料になる選挙公報については、告示後から投票日前までの僅かの期間内に到達する必要があります。

現在、大小の行政区が混在する中、行政の責務として迅速に配布する方法についてどのように考え、対応しているのか。

**A 総務部長** 選挙公報は、投票日の2日前までに選挙人名簿に掲載される世帯へ1枚ずつ配布することとなり、今回の選挙では12月10日までに各世帯に到達する必要がありますことから、各行政区長さんには、特段の配慮をお願いしているところです。

また、行政区未加入世帯に対しては、市役所をはじめ各公共施設、スーパー、コンビニ等への備え置きにて対応しています。

昨今、人口流動の激化や居住態様の多様化など変化に伴い、新聞折込みにより配布する自治体も増えています。新聞購読者数の減少傾向もありますので、委託にかかる経費や定期購読者数に関する事前調査が必要と考えています。



荒川 一秀

## Q. 公平公正な税の配分は合併後の実態どうなのか

### A. 合併スケールメリット活かし市の一体的な発展を目指す

**Q 合併後の税配分の実態は**  
合併後、「税収の大半が旧美野里地区に使われ、その行政手法も美野里流」との声も聞かれるが、実際に、まちづくりがどのように進められてきたのか、旧3町村別のデータにより合併後の実態を示していただきたい。

**A 市長公室長** 合併による効果については、広域的なまちづくりの実現、市政施行による地域のイメージアップ、様々な行政課題に対応できる組織体制づくりなど質の高い行政サービスが期待されるとともに、人件費や事務経費などの経常経費の削減、公共施設整備における重複投資の回避など行財政上の様々な面で合理・効率化が図られます。

市税収入推移 (単位:億円)

項目	小川	美野里	玉里	計
H19	19.4	32.0	13.4	64.8
H20	19.3	31.9	13.3	64.5
H21	18.7	30.8	12.9	62.3

\*合併前の決算状況からの推計した、各年度における旧町村別の市税収入内訳  
\*市税の各税目は、市民税(個人・法人分)、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などが主なもの

これらのスケールメリットを最大限に生かしていくとともに、新たなまちづくりに対して交付される補助金や合併特例債を有効活用し、新市建設計画を基本とした総合計画に基づき、市政の一体的な発展を目指していきます。

インフラ整備事業費 (単位:億円)

項目	小川	美野里	玉里	計
①	23.28	23.75	13.6	60.3
割合	38.6%	39.4%	22.0%	100%
②	11.99	5.01	—	17.0
割合	70.5%	29.5%	—	100%

① H19～21年度までの都市建設部関係(道路整備、生活排水対策事業)の事業費合計  
② H19～21年度までの水道事業費。玉里地区は、一部事務組合が運営しているため未計上

### Q 基地対策交付金の柔軟活用を

**A 都市建設部長** 特定防衛施設周辺整備調整交付金については、これまで道路を中心に公共施設等の整備を行っており、この事業範囲は市内であれば対象になります。

また、再編交付金については、米軍再編に伴う騒音等の影響を受

ける住民の生活に配慮された地域で行う事業に対して交付されるものですが、明確な区域の限定はありません。当面は、75W以上の騒音区域を優先・重点的に整備を推進しながら、市全体で対応すべき事業についても関係部課・機関等と協議してまいります。

### Q 専門職を採用しサービス向上を

**A 総務部長** 市職員の採用については、少ない経費で大きな成果をあげる合併メリットを実現していくため、「定員適正化計画」を策定し人事管理を行ってきました。この結果、合併からの5年間の退職者数は156人、新規採用者数が22人で、134人の純減となっています。また、この間、建築技師や保育士等の資格を有した専門職員の募集は見送っています。

社会情勢の変化に伴い、高度・多様化する行政需要に対応していくためには、資格を有する専門職の配置も検討する必要がありますので、今後、十分に検討していきます。



## Q. スポーツシュレ事業化へ 「将来負担への懸念」解消す説明を



戸田 見成

## A. 各種の負担軽減策はじめ 財源確保策を詳細に検討

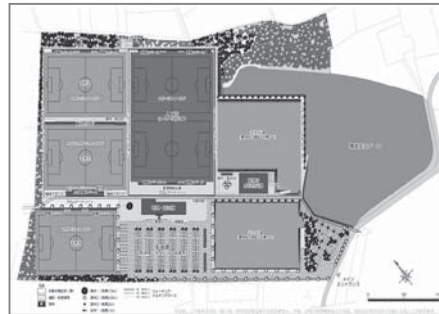
### Q 消えない不安に明確な説明を

(仮称) スポーツシュレ公園については、これまで多大な経済効果をもたらす費用対効果の高い施設と説明してきた以上、運営後の安易な財源補てんはあり得ないが、財政規律を正し、安定運営を確保する面から、公営企業化や周辺自治体との広域連携を検討してはどうか。

間もなく事業が形になる中でも、依然、運営に対する市民の不安・懸念は解消されませんが、改めて納得できる明確な説明を求めたい。

**A 教育次長** 本施設は公園施設として、市民をはじめ一般利用を目的とした公共施設であり、営利を目的とするものではありませんが、経営的な視点は重要ですので、現在、運営に関しては、管理権限を市に置いた上で、専門的なノウハウを有する民間企業やNPO等に運営を代行させる指定管理者制度の採用により、行き届いたサービスの提供と併せて、運営経費の軽減が図れるものと考えています。これまでも説明申し上げてきたとおり、施設整備に関しての財政負担は生じませんが、運営に関し

て、現時点の試算では、市に一定の財政負担は生じてきますので、今後、この軽減を図るべく使用料金や管理運営面での工夫について、また、寄付制度やスポンサーの公募など様々な財源確保策についても、詳細に協議検討していきます。



基本構想 (H20 年度)、基本計画 (H21 年度) 策定の都度、説明会や広報紙等により市民への説明を行ってきた (スポーツシュレ公園基本計画図案)

### Q 補助金適正化の現況は

行財政改革の目玉として、平成18年度から補助金の適正化に取り組んできたが、この中で策定された見直し基準や終期設定などについて、これまでの経過と具体的な成果はあったのか伺いたい。

**A 市長公室長** 補助金等の改革については、平成18年度に統一の見

直し基準を策定し、平成20年度には審議会を通じて各補助事業の内容を審査し、適正化に向けた答申を行っており、これらの状況は広報紙やホームページ等を通じて情報提供してきました。

これまで、この補助金見直し基準の活用については、各担当課で基準に照らして評価を行い、今後、対象経費の適正化に向けて、各補助事業要綱を見直していく予定です。また、各補助金交付の終期設定については、活動団体の自主・自立性を損なわない範囲での助成とし、時代変化に伴い、目的・内容を考慮の上、都度見直ししていくためのものです。

これまで、これらの見直しや検証等を通じて、3年間で5千万円の財政削減効果を見込んでいましたが、現在、約2,300万円(達成率46%)の削減となっています。今後、平成23年度からの第2次行財政改革期間の中でも、引き続き取り組んでいくとともに、併せて、公募型の補助制度への移行促進により、まちづくり組織の活性化、ひいては市民協働のまちづくりを推進していきます。

10月

- 1日 区長会視察研修（～2日）
- 2日 市内幼稚園運動会
- 3日 県消防ポンプ操法競技大会
- 4日 新市建設計画推進委員会
- 幼児施設設置協議会
- 湖北環境衛生組合定例会
- 5日 議会広報委員会視察研修（～6日）
- 6日 企業連絡協議会
- 7日 戦没者追悼式
- 8日 ふれあいまつり企画運営委員会
- 9日 市民体育祭
- 10日 産業祭 実行委員会
- 11日 新市建設計画推進委員会視察研修（～16日）
- 12日 市内幼稚園運動会
- 13日 玉里地区行政懇談会
- 14日 霞台厚生施設組合定例会
- 15日 議会広報委員会
- 16日 県東市議会議長会定例会
- 17日 まちづくり審査会
- 18日 小川地区行政懇談会
- 19日 美野里地区行政懇談会
- 20日 産業祭
- 21日 建設常任委員会視察研修（～26日）
- 22日 県市議会議長会臨時会
- 23日 県市議会議長会議員研修（～26日）
- 24日 和歌山県白浜町議会視察来市
- 25日 関東市議会議長会理事会
- 26日 宮崎市議会視察来市
- 27日 農振地域促進協議会
- 28日 区長会懇談会、市民ゴルフ大会
- 29日

11月

- 1日 県市議会議長会定例会
- 2日 茨自販創業15周年記念祝賀会
- 3日 議員定数等検討特別委員会
- 4日 埼玉県狭山市議会視察来市
- 5日 7つの祝い式典
- 6日 市町村負担金審議委員会
- 7日 防災訓練
- 8日 茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会
- 9日 学校規模配置適正化検討委員会
- 10日 美野里酪農協同組合創立50周年式典
- 11日 国際交流ひろば
- 12日 茨城地方広域環境組合定例会
- 13日 茨城空港「空の駅」整備構想策定委員会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 ふるさと塾開講式
- 16日 静岡県牧之原市議会視察来市
- 17日 国道6号バイパス建設促進期成同盟会中央要望PTA連絡協議会創立5周年記念式典
- 18日
- 19日
- 20日
- 21日
- 22日
- 23日
- 24日
- 25日
- 26日
- 27日

12月

- 1日 都市計画審議会
- 2日 社協理事会・評議員会
- 3日 民生委員・児童委員協議会
- 4日 湖北水道企業団定例会
- 5日 学校規模・配置適正化検討委員会
- 6日 美野里ふるさと食品公社役員会
- 7日 空の駅整備構想策定委員会
- 8日 子ども議会
- 9日
- 10日
- 11日
- 12日
- 13日
- 14日
- 15日
- 16日
- 17日
- 18日
- 19日
- 20日
- 21日
- 22日
- 23日
- 24日
- 25日
- 26日
- 27日
- 28日
- 29日
- 30日
- 31日

みんなで徹底しよう「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を

**贈らない!**



有権者は政治家に寄附を

**求めない!**



政治家から有権者への寄附は

**受け取らない!**




病気見舞い



秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典

お歳暮・お年賀



落成式・開店祝の花輪



町内会の集会・旅行など催物への寸志や飲食物の差入



秘書等が代理で出席する場合の結婚祝



## 第18回プレゼントクイズ

\*答えは議会広報 第20号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、森のレストラン“キャトルセゾン”（四季の里内）のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 問① 平成22年第4回定例議会で審議された議案等は全部で〇〇件？  
 問② 2月より茨城空港から定期就航となるのは新〇歳空港と中部国際空港？  
 問③ 次回の平成23年第1回定例議会の開会日は3月〇日？

### ◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。  
 また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

### ◇応募〆切

平成23年2月28日（月）まで \*当日消印有効

### ◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛  
 FAX: 0299-48-1199 Eメール: gikai@city.omitama.lg.jp  
 ☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

## 第17回クイズの当選者

34通のご応募をいただきました。  
 当選者は以下の方々です。

富塚祥夫さん 工藤直美さん  
 金谷明子さん 海老澤喜美代さん  
 長島文子さん 渡辺知子さん  
 川崎きよ子さん 田中君子さん  
 西條初菜さん 秋山典子さん

## 第17回クイズの正解

- 問① 平成22年第3回定例議会で審議された議案等は全部で〇〇件？ [答→31件]  
 問② 9月定例議会で行われた決算認定、市の会計は全部で〇〇会計？ [答→11会計]  
 問③ 平成22年第4回定例議会の開会日は？ [答→11月25日]

## 皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 茨城空港を利用し神戸旅行に行きました。他の空港と違い素朴ですが、自衛隊機の訓練を見学できること、おみやげ品や食事の出来る場所をもう少し充実させると良いと思いました。(小川・女性)
- ▶ 空の駅構想は空港を利用する人たちが、さらに楽しめ人気を呼ぶことと思います。(三箇・男性)
- ▶ 委員会審査Q&Aは各事業の問題点や改善対策などが、示されていて関心が一層高まりました。3市合併後の良くなった点や悪くなった点なども知りたく思います。(西郷地・女性)
- ▶ 堅倉小学校の建て替え記事を読み、校舎の老朽化・耐震不足は、市のどの学校も抱える問題だと思いました。今後、少子化に伴い、他市のような統合も予測されますので、十分な検討の上での建替計画をしていただきたいと思います。税金が無駄にならないように。(与沢・女性)
- ▶ 福祉にっこりまつりに行きました。小美玉市のこれからは明るいかなと思いました。(上玉里・女性)
- ▶ 小学6年生の娘と一緒に読ませていただきました。羽鳥小学校の耐震工事、茨城空港、小美玉ブランドなど子供でも興味がある質問が多かったので娘もちょっと勉強になったみたいです。いつも大人の広報紙って感じてましたが これからは娘といっしょに楽しみにしたいと思います。そして茨城空港がこれからもお客様が海外からもいっぱい利用されますよう地域振興につながり子供たちにとってもよりよい明るい故郷になりますよう期待しています。今月、私も外国人観光客「おもてなし講座」に挑戦します。楽しみです。(羽鳥・女性)
- ▶ 答弁で「検討します」ではなく、具体的な根拠のある答弁をして欲しい。子ども以下。(西郷地・男性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

# 小川温泉寿荘、今秋リニューアルオープンに向け 建築工事へ



泉質の良さもあり市内外から年間約3万人の利用者がある空港開港に伴い今後も利用者の増加が見込まれる「小川温泉寿荘」

1月17日、平成23年第1回臨時議会が開かれ、市長から提出された8議案全てが原案どおり可決しました。

この中で、議案1～3号は、市内にある3つの保健センター（四季健康館、小川・玉里保健センター）の管理運営について、これまで市が直営で行っていたものを平成23年4月から小美玉市社会福祉協議会に委ねるものです。

また、議案7号は、平成22年度からの継続事業として進めている「小川温泉寿荘」の本館等の建築工事を実施するための契約案件で、今回の議決を得て、平成23年秋頃のリニューアルオープンに向けて事業が進められます。

## 第1回臨時議会（1/17）審議結果（8件）

No	議案名	～主な内容～
1	指定管理者の指定	（四季健康館）
2	指定管理者の指定	（小川保健相談センター）
3	指定管理者の指定	（玉里保健福祉センター）
4	平成22年度一般会計補正予算	補正額）－円、補正後額）209億7,356万円
5	平成22年度下水道特別会計補正予算	補正額）－円、補正後額）18億5,163万円
6	平成22年度介護保険特別会計補正予算	[事業勘定] 補正額）924万円、補正後額）27億9,306万円
7	工事請負契約の締結	（寿荘建築工事） ◇契約金額 2億6,103万円 ◇契約相手 コスモ・本田特定建設工事共同企業体 ◇契約方法 一般競争入札 ◇工事内容 鉄骨造平屋建 / 延床面積 1,069㎡
8	損害賠償額の決定	事業用車両の接触事故に伴うもの

## 次の定例議会は3月3日（木）13時30分開会します

定例議会 日程	会議等の主な内容	傍聴	
		議場	モニター （中継）
3月3日 （木）	本会議 （施政方針、議案説明）	可	有
7.8日 （月・火）	本会議 （一般質問、議案質疑）	可	有
10日 （木）	委員会（～17日）	要確認	無
18日 （金）	本会議 （報告、採決）	可	有

### 議会の傍聴お待ちしています！

- \* 議場は本庁舎3階にあります。議場内での傍聴には簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。
- \* 本庁舎・各支所に設置するTVモニターでも本会議の同時放映を行っています。ご自由にご覧いただけます（受付不要）。
- \* 委員会等の詳しい日程は、定例議会の開会日以降、ホームページをご覧ください。か議会事務局までお問合せください。

### 編集後記

初春の候、年改まって一入寒気が募って参りました。市民の皆様にご改まりし歳の初めを御春ぎしあげます。

年末、年始と政治や経済の混迷が取りざたされた日本ですが、明るい話題の少ない中にも小美玉市には希望の持てる話題があります。昨年は茨城空港が3月に開港し、現在までに約80万人の観光客や利用者が空港に足を運んでいます。当初は様々な面で心配されましたが、現在はソウルやLCC航空会社の就航により神戸・上海へと、更に2月からは名古屋、新千歳への就航が始まります。本市の素晴らしい未来を期待させるに十分な材料であると考えます。

議会が更に希望の持てる未来を創るためには、合併して多様化した価値観を調整し、市民総合の意思を形成していく事が重要であり、市民の皆様にも最も期待されている議員の役割であると思います。私達、市議会議員はこれからもその役割を全うして参ります。

発行編集責任者

議長 野村 武勝

議会広報委員会

委員長 藤井 敏生

副委員長 小川 賢治

委員 山口 良元

福島ヤヨヒ

山本 信子

岩本 好夫

中村 強

（岩本）